

こころせい

第26号

平成22年 4 月

発行 高知厚生病院
広 報 委 員 会

◆ 高知厚生病院の理念・基本方針 ◆

理 念

私たちは、安全かつ質の高い医療を提供し、皆さまに信頼される病院を目指します。

基本方針

1. 患者さまとご家族、更に地域の皆さまの幸せのための医療を実践します。
2. 患者さまの権利を尊重し、真摯かつ温かい態度で接し、心と心が通い合う医療を実践します。
3. 自己研鑽に努め、更に発展向上を目指します。
4. 地域の医療機関や施設と連携し、効率的な医療を目指します。
5. 地球環境に留意し、災害への備えを怠りません。

朝日先生のこと

副院長 山口 龍彦



私がホスピスに出会ったとき、当時香川県立中央病院で泌尿器科部長をしておられた朝日俊彦先生が先達となって私を導いて下さいました。今回は、ホスピスにおける私の師匠、朝日先生について書かせていただくことにしました。

朝日先生にホスピスのことをはじめて教えていただいたのは、17年以上も前のこと、1992年8月の、日野原重明先生を団長とするアメリカ東海岸のホスピス見学旅行でした。約2週間の旅行でしたが、旅行中は朝日先生と同じ部屋で寝泊まりしましたから、先生から多くのことを教わりました。

当時、朝日先生は2年に一度、聖路加の日野原重明先生と共に、カナダやオーストラリアのホスピス見学旅行に行っておられ、世界の最先端のホスピスの現状を知っておられました。日本では、がんの告知がまだタブーだった時代でしたが、朝日先生は既にほとんどの患者に癌告知を積極的に行なっておられ、そのことにより、患者や家族がよい時間、有意義な時間を持てること、そして、幸せな最期を生きることができていることを証明しておられました。日本で、もっとも早く、このことに気付き、実践された医師の一人です。

朝日先生は、この年の10月、はじめてのご著書「笑って死ぬために」を出版されました。その中で、朝日先生は、いろいろな死に方があっても、選ぶとすれば、もっともお勧めは「がんにかかって死ぬことだ」と書かれました。また、死は終わりではない、死ねばあの世という心が全ての世界に行くのだから、反省という作業をして、心を磨いていくことが安心に繋がり、笑って死ぬための秘訣ですよと書かれています。

私は、この旅行の後、多くの方の協力をいただいて1995年の9月から、中国・四国地方でははじめてとなるホスピス病棟を立ち上げることができましたが、朝日先生のお導きがあつてのことと思っています。

「心穏やかに、満足して、感謝のうちに」という私たちのホスピスの掲げる目標は、朝日先生からいた

だいたいのものです。死を前にしても心が穏やかに過ごしていただくにはどのようなケアをすればいいのか、人生に満足していただくにはどのようなケアをすればいいのか、患者さんがご家族や、社会や、人生や、人間を越えた、仏や神といわれる存在、あるいは大宇宙の意志に感謝しながら、大安心のうちに、微笑みつつ生を終えるためには私たちはどうあるべきか、考えること、考え続けることをテーマにいただいたと思っています。この14年間、朝日先生の示されたこの道標に沿って努力しつつ、千数百名の方をお見送りすることができました。感謝です。

朝日先生は、2003年から全国に知られるようになりました。「笑って死ぬために？スピリチュアルケアとは？」が3月に、「笑って大往生」が7月に相次いで全国区の出版社から上梓され、ベストセラーになりました。

この頃、一年間の講演回数が150回位だとおっしゃっていました。高松弁で独特のユーモアを交えたご講演はどこでも大人気で、高知にも何度か来ていただきましたが、聴衆を魅了する先生の話術には誰も敵（かな）うものがありませんでした。

それ以後も、「これでがんが怖くなくなった」を2007年に、2008年の4月には「死ぬまでにやっておきなさい」を出版されました。朝日先生には、ご著書を通して、或は研究会などで一緒にいただいた時にご指導いただきました。

NHKのラジオ深夜便や、教育放送の心の時代にも出演され、毎日の八正道の反省を行なうために日記をつけていることや、日々の心を磨くためのトレーニングについても教えて下さいました。

一昨年（2016年）の9月、進行性の胃がんを罹ったと先生ご自身から私にお電話がありました。朝日先生は、十ヶ月後に高知で日本ホスピス在宅ケア研究会第17回全国大会で、「死ぬまでにやっておきなさい」という演題でのご講演を行なうことが決まっていたので、それで、それまで体が持たないかもしれないから、講演を辞退しようかというご相談でありました。

私は、先生のことは、毎日お祈りさせていただきますから、プログラムの変更は絶対に考えませんから、病気を治して下さいとお願いしました。

朝日先生は、頑張って、病と闘って下さいました。7月の大会では、少し痩せられ、あのトレードマークだった白髪は抗がん剤によって抜け落ちていましたが、坊主頭の宗教者として、また一人のがん患者の視点に立って、ユーモア溢れる朝日節で観客を魅了しました。この時は、信仰ということ、人間を越えたものを信じるということの大切さを語られました。朝日先生は、このご講演を私たちに対する遺言とされたのだと思います。

朝日先生は、ご自宅で最期まで過ごされ、昨年暮れにあの世へと旅立たれました。一年三ヶ月の闘病は、苦しいことも多かったと思います。もう苦しみは味わって欲しくはありませんが、かといって、こんなに早く逝って欲しくもありませんでした。先生のあの笑顔にもう接することができないことを思うと、悲しくて仕方がありません。

しかし、これは先生がご自身の運命として計画なさっておられたことかも知れないとも思います。

先生は「笑って死ぬために」や「死ぬまでにやっておきなさい」に書かれたことを、身をもって実行し、それが嘘ではなかったことを示されました。死を恐れることなく、勇気を持って、死の瞬間までご自分の使命を果たされました。

通夜式では、私が想像していたとおり、棺の中の先生は輝くような笑顔でおられました。先生がご自分の使命を果たされ、人生に勝利されたことの証だと思います。

朝日先生はその笑顔で、言葉で、態度で、たくさんの方を励まし勇気づけられました。先生は、これからも、先生のご著書によって、人々を励まし、勇気づけ、死の恐怖からも救い続けることでしょう。

私も朝日先生と理想を共有しているつもりです。一歩でも朝日先生に近づき、多くの人の苦しみを取り除き、癒しと喜びを与えられる人でありたいのです。また、私たちの病院もそのようでありたいと心から願っています。

第15回 豊かないのち講演

第15回 豊かないのち講演会

がん哲学外来

～がん細胞と話してみませんか～

講師 **樋野興夫先生**
順天堂大学医学部 病理・腫瘍学 教授



樋野興夫 ひのおきお
著書
『われ21世紀の新渡戸とならん』e-grape刊
『がん哲学』to be 出版
『われ origin of fire たらん』to be 出版
『がん哲学外来』to be 出版
『がん哲学外来の話』小学館
『がん哲学外来入門』毎日新聞社

病氣と向き合って 背中合わせの死を感じる事ができる
死を考えることは 生き生きと今生きていることを考える事に繋がる
生きていること そのこと自身が哲学
いのちを語ること それが哲学だとしたら
樋野先生をお迎えして みんなで哲学してみませんか？
豊かないのちを生き抜くために

日 時：5月22日(土) 開場 午後1時
開演 午後2時～3時半
場 所：高新RKCホール
入場料：1,000円(当日券あり)
チケット販売場所：いずみの病院/高知厚生病院/須崎くろしお病院/国南病院/細木病院/もみのき病院
RKCホール/高知県立美術館

主 催：NPO法人高知緩和ケア協会
問合せ先：〒781-8121 高知県高知市鶴島1-9-50
NPO法人高知緩和ケア協会事務局 TEL/FAX：088(884)6470

後 援：高知県・高知市・高知県教育委員会・高知市教育委員会・高知県医師会・高知市医師会・高知県看護協会・高知大学医学部・高知新聞社
RKC高知放送・NHK高知放送局・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ・朝日新聞社高知支局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局

リレーエッセイ

～私(32歳)、友達(73歳)8年来の飲み友達～

事務部 係長 明神 聡



私の73歳の友達は、「いいもの」をたくさん見ているから「いいもの」に敏感。頭の在庫は、努力の証。工場で生活し、家に帰るのは「盆と正月」だけ「工場で死ぬたら最高」と本当に「職人気質(かたぎ)の男」である。

彼は、手造り家具・デザイン全般と雑貨屋を経営している社長です。毎月22日には、自分が独立した日にちを記念してお祭り(飲み会)を開催しています。参加者は、彼のビジネスパートナーであったり、家具関係の弟子(現在は、独立)であったり、自分で経営している方々が集まります。サラリーマンの私には考えられない厳しい世界で戦っている方が多いので、とっても刺激になる場となっています。参加費は無料で多い時で15名ほど集まります。医療関係は私だけですが、知り合ってから何となく可愛がってもらっているので、ほぼ毎回参加になっています。

工場の2階が会場なのですが、初めて行った時の衝撃は、今でも忘れられません。まず初めにデスク(図

面を描く部屋)に案内をしてもらいました。10畳の部屋の壁全面が、建築や家具に関する本で埋めつくされ、それがまた見事にきちんと整理されていました。「小さな図書室」といった感じです。その時の「うわぁ～すごい」と思った感覚は今でも印象に残っています。

とてもセンス(デザイン等)がいい方なので、73歳になった今でもたくさんのお客さん(ファン)に必要とされ現役ですが、その理由がわかった瞬間でもありました。

僕の中でのセンスは努力もあるけど、結局は「才能」がほとんどだと思っていました。

しかしそれは、間違いだとあの本の数量をみて実感しました。良いものをたくさん生み出す為には、当たり前ですが、それだけの情報を自分の頭に持っていないと何も生まれません。その情報を最大限に生かし「いいもの」に繋げる為に重要になってくるのが「考えること」です。考えていないと「いいもの」に敏感にはなりません。「いいもの」に行き着くまでの時間が短いのが「才能」なのかもしれませんが…。本当に年齢を感じさせないエネルギーッな人です。

私は、仕事をするうえでスキルを高めることはもっともですが、「魅力的な人」になることも大切だと考えています。

今よりもっと魅力的な人になる方法は、「自分が魅力的だ」と思う人に近づき「いいところ」だけを盗み、そして魅力的な人をマネすることによって大きく成長していくことだと思います。

「いいところ」だけ盗むと言うのは、「魅力的な人」にもマイナスがあるという訳ではなく、ものまねではなく自分で「いいもの」に繋がれるように、考え努力し自分のものにすることが大切です。

私は、実際に見て、聞いて触れて、体で学べる「最高の環境」で仕事をさせてもらっています。「学ぶは、マネる。」その中でしっかりとイメージし、いいものが「やってくる」ように夢を持って努力して生きたいと思います。

しかし、人ひとりの力は弱く、自分の器以上の仕事をする事は出来ません。でも、できる人の力を借りれば、その器を大きくすることが出来ます。皆様のお力を借りて毎日を一生懸命、楽しく働きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

院内行事

通所リハビリ花見



平成22年3月27日から4月1日にかけて花見に行きました。

国分寺や岡豊山の桜を見に行きました。

花見酒ではなく、お茶とおやつを召し上がって頂きました。



当院は
平成15年9月22日より
日本医療機能評価機構
認定病院となっております。



◆ 特定非営利法人
日本緩和医療学会
より認定研修
施設として認定
されました



◆ 厚生労働省より
医師の午後臨床
研修施設の
認定を受けまし
た

編集後記

入学式や新学期、新年度が始まり少しほっとしているところではないでしょうか。ほっとしたのもつかの間、ゴールデンウィークの予定をあれこれ考えている私です。お勤めの場所があればどなたか教えてください！(INUI)



高知厚生病院

〒781-8121 高知市葛島1丁目9-50 Tel.088-882-6205 Fax.088-883-1655
ホームページ <http://www.kochi-koseihp.jp>